

日本オペレーションズ・リサーチ学会北海道支部 令和2年度 支部総会、第1回運営委員会

日時: 令和2年2月21日(金) 17:00~18:00

場所: 小樽商科大学サテライト中講義室(北海道札幌市中央区北5条西5丁目 sapporo55ビル 3F)

次第

1. 開会の辞
2. 資格審査
3. 支部長挨拶
4. 議題
 - (1) 令和元年度事業報告
 - (2) 令和元年度収支決算報告ならびに監査報告
 - (3) 令和2年度役員(案)
 - (4) 令和2年度事業計画(案)
 - (5) 令和2年度予算(案)
 - (6) その他
5. 閉会の辞

議題

(1)令和元年度事業報告

1. 通常総会、第1回運営委員会

日時:平成31年4月12日(水) 18:00~19:00

場所:北海道大学大学院情報科学研究科 11階 大会議室 (札幌市北区北14条西9丁目)

議題:

- (1)平成30年度事業報告
- (2)平成30年度収支決算報告ならびに監査報告
- (3)平成31年度役員(案)
- (4)平成31年度事業計画(案)
- (5)平成31年度予算(案)
- (6)その他

2. 第2回運営委員会

日時:2019年7月31日(水)18:00~19:00

場所:小樽商科大学 札幌サテライト 小講義室

(〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル 3階)

議題

- (1)2020年秋季研究発表会について
- (2)その他

3. 支部主催・共催イベント

(1)2019年度「さっぽろ観光情報学研究会」第1回講演会

日時:日時:2019年9月24日(火)18:00~19:40

場所:小樽商科大学札幌サテライト大講義室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル 3F

講師: 越知雄一氏(ピクスタ株式会社 台湾支店長)

講演題目: コンテンツビジネスのアジア進出

概要:ピクスタ社は、画像・動画・音楽の素材サイト「PIXTA」をはじめとしたクリエイティブプラットフォーム事業を展開する企業です。そのアジア展開のキーマンである越知氏は、一貫してコンテンツ産業でキャリアを積み、コンテンツ産業のアジア進出についてのマネジメント経験も豊富な人物です。越知氏からは、今まさに進展する同社のアジア進出の実践についてご講話いただき、コンテンツ業界の将来像についても解説していただきます。

日本あるいは北海道へのインバウンド誘客には、日本のコンテンツを海外に広めることが重要です。ゲーム、アニメ、J-POPなど日本のコンテンツはアジアで人気ですが、果たしてそのプラットフォーム運営においても覇権を握れるのでしょうか。今回の講演会は学会員以外の参加も自由です。この機にコンテンツビジネスの未来をアジアの中の北海道という立場から考えていきましょう。

(2) NoMaps ビジネスカンファレンス

日時:2019年10月18日(金)11:00~12:00

場所:〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 ACU-A RoomA

講師: 中島 直美(Insight Lab イスラエル 支店長)

講演題目:イスラエルはなぜスタートアップネーションと呼ばれるのか

講演概要:

イスラエルは、人口約900万、四国ほどしかない国土の約半分は砂漠、天然資源もない上に近隣諸国は敵国という厳しい生存条件の中で、迫害や虐殺の歴史を刻んできたユダヤ人の国として1948年に建国を果たしました。歴史や政治、宗教的な文脈から語られることが多かったイスラエルですが、2009年に「Start-up Nation ~イスラエルの奇跡的な経済成長~」(ダン・セノール、サウル・シンガー共著)という本が出版されたことにより、世界的にスタートアップネーションという地位を確実なものにし、出版から10年たった今でも、世界から注目を浴び続けています。イスラエル人は空気を全く読まず、8割方まとまりかけた意見でも一人でひっくり返すことをよしとする面倒な人々です。失敗は何か行動を起こした証であると評価されるため失敗を恐れず、却下される案でも言うことに意味があるという価値観でしゃべりやみません。間違っていると思われる意見ならば相手の立場など全く気にせず、上司だろうが上官だろうが堂々と指摘します。こんな人々が暮らしているイスラエルは、なぜスタートアップネーションと呼ばれるのか。逆境にこそ強いイスラエル人の生きざまはサプライズの宝庫です。日本とは正反対とも思える価値観を持ったイスラエルには、変化と激動の新たな時代を迎えた現在の日本に役立つ情報がいっぱい隠されています。

(3) 日本OR学会北海道支部 第3回支部講演会

日時:2020年2月21日(金)18:00~19:00

場所:小樽商科大学サテライト 中講義室

北海道札幌市中央区北5条西5丁目 sapporo55ビル 3F

講演 三好 直人 氏(東京工業大学)

「空間点過程を用いたセルラネットワークのモデル化と解析」

4. 普及活動およびその他の活動

Web ページ更新(随時)

(2) 令和元年度収支決算報告書(案)

1. 収支決算書

自)平成31年3月1日

至)令和2年2月29日

科目	予算額(円)	決算額(円)	備考
(収入の部)			
本部交付金	215,200	215,200	支部運営費
参加費	0	0	
雑収入	0	0	
合計	215,200	215,200	
(支出の部)			
会議費	0	0	
講演会費	180,000	203,500	講師謝礼, 会場賃料
研究会費	0	0	
事務費	0	0	
消耗品費	0	0	
源泉税返還	16,000	10,632	
雑費	0	880	振込手数料等
予備費	19,200	0	
本部返金	0	188	
合計	215,200	215,200	

監査報告書

日本オペレーションズ・リサーチ学会北海道支部
支部長 長尾 光悦 殿

令和元年度(平成31年3月1日から令和2年2月29日迄)の事業報告、決算報告、現金出納帳、及び附属明細書を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

監事 大津 晶 

(3) 令和2年度日本OR学会北海道支部役員(案)

支部長	長尾光悦	北海道情報大学システム情報学科	
副支部長	石井利昌	北海道大学大学院経済学研究科	
運営委員	大堀隆文	教育こころ研究所	
	加地太一	小樽商科大学社会情報学科	
	北 裕幸	北海道大学大学院情報科学研究科	
	後藤 允	北海大学大学院経済学研究科	
	鈴木恵二	公立ほこだて未来大学複雑系知能学科	
	鈴木輝好	北海道大学大学院経済学研究科	
	高野伸栄	北海道大学大学院工学研究科	
	福居文継	北電情報テクノロジー情報技術部	代議員
	三田村 保	北海道科学大学メディアデザイン学科	研究普及委員
	原口和也	小樽商科大学社会情報学科	
	山本雅人	北海道大学大学院情報科学研究科	
	川村秀憲	北海道大学大学院情報科学研究科	
	山下倫央	北海道大学大学院情報科学研究科	
	横山想一郎	北海道大学大学院情報科学研究科	
監事	大津 晶	小樽商科大学社会情報学科	
	木下正博	北海道科学大学メディアデザイン学科	
幹事(研究)	西川孝二	北海道科学大学メディアデザイン学科	
幹事(事務)	斎藤 一	北海道情報大学情報メディア学科	

(4) 令和2年度事業計画(案)

1. 通常総会

日時: 令和2年2月21日(金) 17:00~18:00

場所: 小樽商科大学サテライト中講義室(北海道札幌市中央区北5条西5丁目 sapporo55ビル 3F)

議題: 令和元年度事業報告・決算報告, 令和2年度事業計画・予算(案), 他

2. 運営委員会

1~2回開催予定

3. 講演会, 研究会

2回程度開催予定

4. 普及活動およびその他の活動

ホームページの更新, 他

(5) 令和2年度支部運営費予算(案)

自) 令和2年3月1日
至) 令和3年2月28日

科目	予算額(円)	備考
(収入の部)		
本部交付金	215,200	支部運営費
雑収入	0	
合計	215,200	
(支出の部)		
会議費	0	
講演会費	180,000	支部講演会
消耗品費	0	
源泉税返還	16,000	
雑費	0	
予備費	19,200	
合計	215,200	